

総務

元箱根集会所建設の進捗状況について

Q 元箱根集会所の最  
近までの工事の進捗  
状況と今後の予定は

A ご承知のとおり箱  
根集会所建設事業は  
2か年継続事業で、工事  
期間は、平成21年9月1日  
から平成22年12月10日まで  
を予定したところであるが、  
議会でもご説明させていた  
だいたが、工事を一時中断  
したことにより、工期の最  
終を平成22年12月10日から  
平成23年3月18日まで約3  
か月延伸することについて、  
6月定例会で認めていただ  
いたところである。

Q 集会所が利用可能  
となるのは予定通り  
でよいか。

A 進捗状況だが、平  
成21年度は、既存建  
物解体工事(公民館357.2㎡、  
旧消防詰所112.2㎡、車庫22.7  
㎡)、廃棄材片付け工事が  
終了している。  
平成22年度は、地盤改良  
工事・杭工事が6月に終了  
し以降、8月中旬に基礎工

福祉

箱根町の子育て支援について

Q 1、子育て支援課の  
役割及び、主な取り  
組みについてお伺いいたし  
ます。

A 子育て支援課につ  
いては、子どもたち  
が健やかに育ち、成長して  
いけるよう支援をして行く  
こと、また母子及び妊産婦  
の健康増進を図ることを主  
な役割としている。

Q 事業内容は、  
地域における子育て  
の支援としまし

A 地域における子育て  
の支援としては、  
保健師が行っている育  
児教室、助産師によります  
新生児訪問、各幼児学園内  
で行っている子育て支援事  
業、小学校の1年生から3  
年生までを対象とした、「放  
課後児童クラブ」がある。  
また、経済的な支援とし  
ては、中学校終了までを対  
象とした「小児医療費助成  
事業」、母子・父子世帯対  
象の「ひとり親家庭等医療  
費扶助」、「妊婦健康診査  
の助成」、「妊婦歯科健康診査

の助成」を行っている。  
次に保育サービスにつ  
いては、湯本幼児学園、宮城  
野保育園、仙石原幼児学園  
の運営を行っている。幼児  
学園では、保育所と幼稚園  
の区別なく養護と教育を大  
事にした「箱根町乳幼児力  
リキュラム」に基づく保育  
をしている。また、当町  
の保育所の保育料は県下で  
一番低額であり、家庭の負  
担の軽減を図っている。

次に母子の健康の確保及  
び増進としては、4か月健  
診等 乳幼児健康診査、歯  
科健康診査、歯科教室、子  
育て健康相談を行っている。  
なお、国の制度であるが「子  
ども手当」の支給も行って  
いる。

子育てを支援する生活環  
境の整備については、子育て  
に勤労者世帯に住宅を供給  
し、人口の定着化と労働力  
の確保を図っている。  
要保護児童その家庭への  
支援については、関係機関  
と連携を取り、児童虐待防  
止に努めている。

子育てを支援する生活環  
境の整備については、子育て  
に勤労者世帯に住宅を供給  
し、人口の定着化と労働力  
の確保を図っている。  
要保護児童その家庭への  
支援については、関係機関  
と連携を取り、児童虐待防  
止に努めている。

子育て支援課がスタート  
し5か月が経つが、新しい  
試みとして、園長経験者  
を課内に配置し、保育士等  
職員の質の向上を図るため、  
4年未満、4年以上、10年  
以上の経験年数別に分けて  
研修を実施している。

また、今年度の新規事業  
としては、妊婦歯科健康診  
査の助成がある。これは、  
早産の危険を避け、虫歯の  
母子感染を防ぎ、母子の健  
康づくりに役立ててもら  
うことを狙いとし、安全な出  
産を迎えるために支援する  
事業である。

次に事業内容の充実とし  
ては、「小児医療費助成事  
業」の通院費助成対象者を  
小学校6年生から中学校3  
年生までに拡大し、お子さ  
んを持つ家庭の生活安定を  
図っているほか、放課後児  
童クラブを旧箱根小学校か  
ら箱根の森小学校内に移設  
し、利用する子どもたちの  
利便性と安全性の向上を  
図っている。また、試行的  
に夏休み期間限定で対象児  
童を小学校6年生まで拡大  
してお子さんをお預かりし  
ている。

子育てを支援する生活環  
境の整備については、子育て  
に勤労者世帯に住宅を供給  
し、人口の定着化と労働力  
の確保を図っている。  
要保護児童その家庭への  
支援については、関係機関  
と連携を取り、児童虐待防  
止に努めている。

Q 2、これまでの箱根  
町の出生数の推移

A 出生数ですが、10  
年前の平成12年度は  
「95人」でしたが、平成15  
年度には「91人」、平成18  
年度は「78人」、平成21年  
度には「67人」と年々減少  
している。

また、平成18年度と平成  
21年度を地域別に比較して  
みますと、仙石原地域は17  
人から20人と増えているが、  
箱根地域は6人から6人で  
横ばい、湯本地域は20人か  
ら19人、温泉地域は7人か  
ら4人、宮城野地域は28人  
から18人と減少している。

Q 今後の見通しにつ  
いて

A 今年の3月に策定  
した「箱根町次世代  
育成支援行動計画」の中で、  
町の将来の子ども人口を推  
計しているが、出生数は、  
平成21年に比べて5年後の